

「多摩の拠点整備基本計画」（概要）

目 的

本計画は、核都市、生活拠点など、多摩の拠点について、拠点整備の基本方針を示した上で、核都市については、整備方針、取り組むべきプロジェクト等を示すことにより、計画的、重点的に整備を推進します。生活拠点については、今後の生活拠点の整備を先導するプロジェクト等を示し、その進捗を図るとともに、多摩各地の生活拠点のまちづくりを促進します。

本計画により、活力と魅力にあふれ、自立して一層の発展を遂げる多摩地域の実現に取り組んでいきます。

性 格

「10年後の東京」計画及び「改定・都市づくりビジョン」を踏まえ、新たな観点に立って、多摩の「心」育成・整備計画を見直した、多摩地域の拠点の整備基本計画です。

都、市など行政をはじめ、多摩の拠点整備に係る各主体が、個別の事業計画や実施計画等を策定する際の基本となるものです。

目標時期

「都市づくりビジョン」を踏まえ、2025年（平成37年）を、多摩地域の将来像の実現に向けた目標時期とし、このうち、「10年後の東京」計画の計画期間である2016年（平成28年）までを、積極的に事業を展開する期間とします。

多摩地域の将来像（抜粋）

核都市では、業務・商業、産業、文化、交流など、多様な機能が集積し、周辺の住宅地とともに、職住が近接する自立した圏域が形成される。

市街地のコンパクトな再編、自然環境の維持・再生を図ることにより、ゆとりと多様なライフスタイルを楽しむことのできる都市圏が形成される。

鉄道駅など交通結節点等に形成されている、多摩各地の生活拠点においては、身近な生活機能とともに、商業、文化、教育、福祉など都市機能の更なる集積が進む。

大学や研究機関、先端技術産業など既存の集積を生かした研究・産業拠点や物流拠点の整備が進み、多摩シリコンバレーが形成される。

多摩西部においては、圏央道などの高速道路や都市計画道路の整備により、都心や都県境を越えた地域とのアクセスが向上し、豊かな緑と水の大自然や、特色ある文化・歴史を観光資源とする、広域的なレクリエーションゾーンが形成される。

拠点整備の基本方針

「10年後の東京」計画、都市づくりビジョンを踏まえて、7つの基本方針を設定しました。

- コンパクトなまちづくりによる市街地の再生
- 多摩シリコンバレーの形成に向けた産業拠点の整備
- 環境にやさしい持続可能なまちづくり
- 緑豊かな都市空間の形成
- 美しく魅力あふれる都市景観の創出
- 安全・安心な市街地の形成
- 交通基盤の充実

核都市の整備

5つの核都市で、合計55のプロジェクトを提示しました。

＜整備プロジェクトの例＞

八王子	- 旭町・明神町地区のまちづくり - 八王子駅南口地区第一種市街地再開発事業 - 高尾観光まちづくり
立川	- 立川基地跡地昭島地区の整備 - 立川基地跡地都市軸沿道地区の施設立地の促進 - 立川駅北口西地区第一種市街地再開発事業
多摩ニュータウン	- 多摩センター駅南側地区・北側地区の施設立地の促進 - 諏訪・永山地区の再生・整備 - 上平尾地区のまちづくり
青梅	- シビックコアのまちづくり - ぶらり青梅宿事業 - 観光資源回遊性向上プロジェクト
町田	- JR横浜線町田駅南口地区のまちづくり - 森野一丁目南地区のまちづくり - 南町田駅前地区の整備

生活拠点の整備

今後の多摩の生活拠点の整備を先導するまちづくりの取組が行われている拠点として、7地区を選定し、合計32のプロジェクトを提示しました。

＜整備プロジェクトの例＞

JR中央線武蔵小金井駅周辺・国分寺駅周辺地区	武蔵小金井駅周辺地区 (小金井市) 国分寺駅周辺地区 (国分寺市)	- JR中央線連続立体交差事業 - 武蔵小金井駅南口第1地区第一種市街地再開発事業 - 国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業 - 駅周辺の都市計画道路の整備
JR中央線豊田駅周辺地区 (日野市)		- 多摩平団地の再編整備に伴う拠点形成 - 豊田南土地区画整理事業
JR青梅線等拝島駅周辺地区 (昭島市、福生市)		- 駅南口周辺道路整備事業 - 駅南口駅前のまちづくり
京王線調布駅・布田駅・国領駅周辺地区 (調布市)		- 京王線連続立体交差事業 - 駅前広場等(調布駅・布田駅・国領駅)の整備 - 調布駅北第1地区第一種市街地再開発事業
京王線府中駅周辺地区 (府中市)		- 府中駅南口(第1地区)の再開発 - 大國魂神社・けやき並木周辺地区の景観整備
西武新宿線等東村山駅周辺地区 (東村山市)		- 東村山駅西口地区第一種市街地再開発事業 - 駅西口の基盤整備
西武池袋線ひばりヶ丘駅周辺地区 (西東京市)		- 駅北口の都市計画道路の整備 - 駅周辺における地区計画による市街地誘導